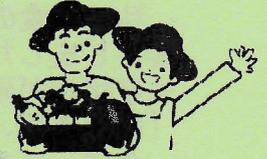




都市型農業を考えるミニ・フォーラム

新鮮でおいしい野菜・果物を食べつづけた～い



身近なところで作られる農産物は、生産者の顔が見え、食の安全安心につながっています。そのためにも、大和市で農業が継続できる環境をつくっていくことが大切です。

前回の「食と農の専門家の大江正章氏の講座」に引き続き、生産者、消費者、行政の方達を迎え、地場の新鮮でおいしい野菜と果物を食べ続けるためにはどうしたらいいのか？また昨今の食料事情と都市型農業の課題について、一緒に考えます。ぜひ、ご参加ください。

◆パネリスト

消費者代表	4 児の母親。 家族の健康は食からと考え、子育てをしている。
大和市農政課	大和市役所農政課職員。 大和市が考える都市型農業とは？
JA さがみ (予定)	JA さがみ職員。 大和市の農業の実態を教えてください。
生産者	ヤマキファーム代表。 座間市栗原で農薬・化学肥料を使わず有機栽培で季節の野菜を栽培している生産者。

開催日時：

12月9日(金)

13:00～15:00

**会場：鶴間会館コミュニティーセンター
2階 集会室**

主催：

神奈川ネットワーク運動

大和市民会議(環境政策チーム)

参加費：なし

申込先：

参加申込みは下記の用紙に記入の上、FAX で送るか、問合せ先に TEL でお申込みください。



12月9日(金)「都市型農業を考えるミニ・フォーラム」参加申込書

申込先 FAX：046-259-6583

問合せ TEL：090-2677-5763 (高橋)

お名前	連絡先 (TEL)	FAXやメールアドレスなど

地域農産物直売所マップ作成にご協力をお願いします。

私達は食の安全と農業を取りまく課題の中で「TPP・地産地消・都市農業」に着目しました。身近な地域で作られた農産物は新鮮で、直接見て・聞いて・話して生産状況が確かめられることにより安心感や愛着感を得ることができます。この「顔が見え、話ができる」関係性は、食の安全や地場農業の活性化へもつながります。

今回、大和市に点在する直売所をより多くの地域消費者に知っていただき、利用へつながっていただけるよう、市内にある直売所マップを作成することになりました。

つきましては、皆さまのご協力を頂き、情報を集めたいと思いますので、調査票記入のご協力をよろしくお願いいたします。

作成した直売所マップは12月9日に公表をします。11月27日までに関係者または、大和市民会議までFAX046(259)6583をお願いいたします。

神奈川ネットワーク運動 大和市民会議 環境政策チーム



地場野菜直売所 調査票

調査日	2016年	月	日()
名称			
エリア	北部	中部	南部
住所(大まかで良い)	大和市		
販売日	毎日・毎週(月・火・水・木・金・土・日)曜日		
	その他()		
販売時間	:	~	:
問合せ先(あれば)			
販売形態	無人・有人・その他()		
取扱品目	野菜・果物・花・その他()		
特色など(減農薬野菜などこだわっていること等) (写真を貼っても可)			